

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第 83 号 / 2017 年 6 月 30 日発行

編集 / 医学研究科長

『“YOU は何を求めて大学院に！”』

医学部公衆衛生学講座 教授 石原 陽子

大学院設置基準では、修士課程は「広い視野に立って精深な学識を授け、専門分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うこと」、博士課程は「研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うこと」を目的としています。加えて本学では、“国際的視野並びに豊かな教養と人間性を備えた人材育成”と記されています。大学院生は、学部学生と異なり自らの学問の追求が課題であり、自己学習意欲が求められます。最近の大学院設置の増加は、学部学生と院生の割合を 10 対 1 に上昇させ、特に博士課程では保健分野の院生数が他の領域より突出しており、全院生数の約 3 割が女性（平成 28 年度学校基本調査確定値）です。今後、医療保健分野もグローバル化によって国際競争が予想されることから、院生時代に如何に”社会の多様な方面で活躍し得る高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えたか“、卒後の活躍の場で強く問われることになるでしょう。

1990 年以降、研究者の卵である大学院生が急増しているにもかかわらず、Nature Index 2017 日本版は、日本の科学研究がこの 10 年間で失速していると指摘しました。論文数の減速は工学系分野であり、医学系分野の論文数は 10 年前と比較して増加している

とされますが、査読付き文献を網羅するスコopus・データベース収録全論文数に占める日本からの論文数が減少しており研究の質が問われています。“この 10 年間に何が起きたのか？”。思い起こせば、予期せぬ東日本大震災と原発事故やSTAP細胞事件などは、多かれ少なかれ研究環境に様々な影響を与えました。一方、身近な事象としては、欧米人が主流であった国際学会が、参加費の優遇措置もあり開発途上国からの参加者が急増して特に中国からの参加者が増加していること、パーソナルコンピュータやインターネットの普及で論文検索や作成及び投稿が容易となりましたが、電子ジャーナル化によって掲載料が発生し、雑誌のレベルと掲載料を見比べての投稿が必要となりました。研究には高価な試薬はつきものですが、最近の雑誌掲載料の高騰や、国外、特に米国での国際学会の登録料やホテル代の高騰は目を見張るもので、院生や若手研究者にとってはその負担が研究の足かせになるのではと危惧します。

ここ数年で、iPS 細胞、ビッグデータ、人工知能、ゲノム編集等々、医療分野でも新しいワードが次々に生まれています。それだけ、科学研究も急ピッチで発展しているということでしょう。iPS 細胞の山中教授は、iPS 細胞の第 1 報作成時に内容に自信があったにもかかわらず公表後の事態を危惧して共

著者名に熟慮したようですが、研究者には益々研究倫理が強く求められています。投稿論文数が急増している中国では、論文の掲載取り消しが多発しており、最近もシュプリンガー・ネイチャーが107本の中国からの寄稿論文の掲載取り消しを行ったと報じています。院生や若手研究者は、常にアンテナを張り巡らし新しい情報をキャッチしながら独創性の高い研究やニッチの研究を国内外の研究者と切磋琢磨して、遂行していくことが求められています。その基本となるのが院生時代に培われた研究の倫理性と“高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識”であると

思います。特に、研究倫理については、黒木登志夫先生の「研究不正：科学者の捏造、改竄、盗用」（中公新書）の一読を勧めたいと思います。

常に思考しながら研究を継続する姿勢、それは必ずしも期待した成果を得ずともあらゆる困難を乗り越え果敢に研究に取り組む力となり、次の研究の土台となるはずで、時間は有限であるがゆえに、研究の質を高めるのは“灰色の脳細胞”を駆使して“継続は力なり”を実現できる“YOU”だけなのです。

～NEWS～

◆大学院医学研究科 facebook ができました

2017年3月に大学院医学研究科の公式 facebook を立ち上げています。大学院生のみならず広く地域の方へ大学院の活動をお知らせしています。企画として「修了生インタビュー」や「在学生インタビュー」を実施し、修了生や在学生の生の声をお届けしていきます。院生にとっても、これから大学院を目指そうと考えている方にとっても、大変有意義な内容となっています。医学研究科ホームページやニュースレターでも配信していきますので、是非ご覧ください。今後、院生のみなさまにインタビューをご依頼することもございますが、何卒ご協力の程お願いいたします。

4名のインタビューをお届けしています。

- 北原 陽介さん（博士課程生理系専攻3年次修了）
- 橋田 竜騎さん（博士課程個別最適医療系4年次修了）
- 酒井 義朗さん（博士課程病理系専攻4年次修了）
- 矢野 有紗さん（博士課程病理系免疫学専攻3年生）



FB：<https://www.facebook.com/kurumeugsm/>

HP：<http://www.kurume-u.ac.jp/site/gmed/shosaiart753.html>

◆第3回研究発表会の日程が決定しました

主に博士課程を対象とした研究発表会が今年度も12月11日（月）・12日（火）に開催されます。エントリー受付期間は9月15日（金）～9月29日（金）です。ご自身の研究の進捗状況を把握し、客観的なフィードバックを得ることができる好機ととらえ、ふるってご参加ください。大学院生の研究発表に加え、英語力を磨くワークショップや懇親会の開催も検討中です。詳細が決まり次第、順次周知してまいりますので乞うご期待ください。

事務通信



◆健康診断未受診者の方へ

医学部 B 棟 1 階保健管理センターにて 4 月及び 6 月（本学職員）に実施しておりました健康診断はお済みでしょうか？やむを得ない理由で受診できなかった場合は、これに代わる証明書をかならず保健管理センターへ提出してください。

特に、社会人学生の方で、職場で健康診断を受診される方は、受診後速やかに健康診断の写しを保健管理センターへご提出ください。

◆現住所が変更になったら・・・

現住所が変更になりましたら、必ず「学生現住所変更届」の提出が必要です。なお、メールアドレスや電話番号が変更になった場合も、教務課までご連絡ください。重要な書類がお手元に届かない場合がありますので、ご協力よろしくお願い致します。（※「学生現住所変更届」は大学院 HP よりダウンロード可）。

◆7月から各種証明書の料金支払い方法が変わります。

これまで、窓口で支払っていた料金は、券売機でチケットを購入する方法へ変更になります。購入した場合、チケットが 2 枚発行されますが、領収書と記載がないチケットを証明書交付願に添付が必要です。不明な点などありましたら教務課窓口へおたずねください。

◆学割証の発行手続きが変わります

これまで台帳に記載していた申し込みを、個人毎の学割証明書に記載する方法へ変更になります。申込書は「学割申込書提出 BOX」へ投函ください。不明な点などありましたら教務課窓口へおたずねください。

◆博士課程の皆様へ◆

平成 29 年度 博士課程共通科目レポート提出期限について

博士課程共通科目を履修された方、前期レポートの提出期限が迫っています。提出先・レポート課題をご確認のうえ、所定の期日までにご提出ください。



科目名：遺伝子多型 (SNPs)
科目責任者：神田芳郎 (法医学)
締切日：6月30日 (金) 17時
提出先：医学部事務部教務課窓口

科目名：ゲノムドラフトの解明
科目責任者：石原直忠 (分子生命科学研究所)
締切日：9月22日 (金) 17時
提出先：医学部事務部教務課窓口

科目名：ゲノム創薬の進歩
科目責任者：児島将康 (分子生命科学研究所)
締切日：7月28日 (金) 17時
提出先：医学部事務部教務課窓口

科目名：免疫関連分子と T 細胞抗原レセプター多様性の解明
科目責任者：山田亮 (先端癌治療研究センター)
締切日：第 1 回講義時に指示
提出先：第 1 回講義時に指示

科目名：実験動物学
科目責任者：御船弘治 (動物実験センター)
締切日：9月8日 (金)
提出先：動物実験センター受付

平成29年度 大学院セミナーシリーズ（特別講義） カリキュラムのお知らせ

担当講座	講義日時	会場	講演者	講義テーマ
内科学講座 (消化器内科部門)	7月20日(木) 18:00~19:30	基礎1号館 2階会議室	新藏 礼子 先生 (奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 応用 免疫学教室・教授)	腸管IgA抗体による腸内細菌制御
泌尿器科学講座	9月7日(木) 18:00~19:30	教育1号館 5階1501教室	副島 英伸 先生 (佐賀大学医学部分子生命科学 講座 分子遺伝学・エピジェネ ティクス分野 教授)	ゲノムインプリンティングと関連疾患
外科学講座	9月15日(金) 17:30~19:00	教育1号館 5階1501教室	赤木 究 先生 埼玉県立がんセンター 部長	がん遺伝医療 「がんゲノム異常解析による治療選択と派生する遺伝の問題」
眼科学講座	9月21日(木) 17:30~19:00	教育1号館 5階1501教室	池田 華子 先生 (京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター 網膜神経保護治療プロジェクト 准教授)	新規神経保護治療薬の開発研究
神経精神医学講座	10月20日(金) 17:00~18:30	臨床研究棟 2階共同カンファレンスルーム	中村 純 先生 (北九州古賀病院・院長)	未定
整形外科学講座	11月16日(木) 13:00~14:30	教育1号館 5階1501教室	大島 博 先生 (宇宙航空研究開発機構 JA XA)	宇宙医学の現状について
医化学講座	未定	教育1号館 5階1501教室	河野 隆志 先生 (国立がん研究センター研究所・ゲノム生物学研究分野・分野長)	遺伝子情報に基づいた肺がんの個別化医療・予防の実現

※今後の予定を掲載しています。

開講日時・場所等に変更がある場合には、大学院医学研究科ホームページでお知らせします。

また、当該科目履修者は5回以上のセミナー出席およびレポートの提出をお願いいたします。

レポートについては、各セミナー終了後1週間以内に、医学部事務部教務課までご提出ください。

履修者以外の方も自由聴講が可能ですので、是非ご参加ください。

編集後記

早いもので新年度が始まり3ヶ月たちました。学生生活はいかがお過ごしでしょうか。本年度の大学院医学研究科には新入生修士課程28名、博士課程25名が入学され、新たな一步を踏み出されました。大学院事務担当も教務課：坂田・菅原、庶務課学位申請担当：米村・津崎でみなさまのサポートに努めさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(菅)

